



筑波大学



文京区



第3回国際スポーツ ボランティア 育成プログラム

▶開催日程

8月26日(日)・9月2日(日) 2日間

▶開催目的

ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピックなどの国際大会におけるボランティアとして活躍するために 教養・知識を身につける。
障害のある人へのサポート方法などを 実技を通して学ぶ。

▶開催場所

筑波大学附属中高等学校内 ※桐蔭会館 ・ 筑波大学附属小学校 ※講堂

▶対象

大学生・一般
(定員120名)

▶修了証

全日程出席者に修了証を発行
スポーツボランティア申込みの際、研修履歴に活用できます

▶受講料

5,000円(税込)

教育プログラム
[ようい、ドン!]



メッセージと主な取り組み



筑波大学
学長
永田 恭介

筑波大学は'Imagine the Future.'をスローガンに、未来志向の研究及び人材養成を進めています。
筑波大学に根ざす人材育成マインドは「師魂理才」と表現されます。
これは、親や先生のように人に接する心や人々をまとめる力を持ち、かつ合理的な問題解決能力を持つことを意味します。
この能力は、スポーツのメガイブのボランティアにこそ求められる資質でしょう。
多様な人々が世界中から集まってくるイベントでは、どのようなトラブルが起こり、どのような要求が出されるかわかりません。
それに適切に対処する能力を身につけていただくために、ボランティア養成プログラムを始めることになりました。
アジア人初のIOC委員嘉納治五郎先生のレガシーを継ぐ筑波大学内外の講師陣による本プログラムを通して、この資質が広く、高く、発展することを期待いたします。



筑波大学
体育系/教授
東京2020オリンピック・パラリンピック組織委員会
参与
真田 久

2020年まではいよいよ2年になりました。
2020年に多くのアスリートとそのスタッフ、メディアそして観光客などが訪れます。
それらを通して日本の社会はどのように変わのでしょうか？
この歴史的なイベントにどのようにすれば関わることができるでしょう。
その一つがボランティアとして具体的に関わることです。
このほど、オリンピック・パラリンピック教育で伝統のある筑波大学と数多くの大学を有する「文の京」文京区が共催し、ボランティア育成セミナーを開催することとなりました。この講座を学習して意義ある2020年に活躍されることを期待します。
本年4月、ローザヌでT.バツハIOC会長を表敬訪問した際、ボランティア育成はオリンピックのレガシーとして重要であるとお話をいただきました。
ボランティアとして、かけがえのない経験をし、2020年の歴史の証人になりましょう！



筑波大学
客員教授
**グローバルマナー
スプリングス**
代表
江上 いずみ

ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲーム2021関西と大きなスポーツイベントが3年続けて日本で開催されます。そのような大きな国際スポーツ大会において、ホスト国日本の国民としてどうあるべきかを学ぶ「おもてなし学」の授業を筑波大学ですすめています。
今回の育成セミナーでは、ボランティアとして活躍する皆様に「おもてなしの心」の極意とグローバルマナーをお伝えしたいという願いを込めて、カリキュラムを熟考しました。
言語・宗教・習慣・食文化・国民性の違いのみならず、年齢・職業や障がいの有無などを含めた多様性に於いて、自己を確立しつつ、他者を受容して、臆せず積極的に外国の方々をお迎えする方法を実践しながら学びたいと思います。
思いやりの気持ち、助け合い、譲り合い、心づかいの素晴らしさを評価されるマナー大国「日本」ですが、さらに2020年以降の国際社会を見据えた「おもてなしの心」と「心づかい」を皆さんで学んでいきましょう。

筑波大学の取り組み



筑波大学とオリンピック・パラリンピック

筑波大学はオリンピック・パラリンピック総合推進室を設置し、オリンピックムーブメント、パラリンピックムーブメントの推進に協力しています。附属学校11校を持つ附属学校教育局とIOC公認のオリンピック教育プラットフォーム（CORE）により、オリンピック・パラリンピック教育の全国展開に関わって参りましたが、多様な価値を重視するダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター（DACセンター）や、アダプテッド体育・スポーツ学の専門家と連携して、ボランティア育成プログラムを始めることになりました。
それぞれの第一線で活躍する講師によるプログラムにぜひ、ご参加ください。



文京区の取り組み



文京区はスポーツボランティア事業(平成27年度開始)を通じ、スポーツ振興に主体的に関わることのできるスポーツボランティアの育成に取り組んでいます。
障害理解への促進を目指したスポーツボランティア養成講座やバラスポーツ競技体験サポートを通じた実践経験の機会提供、オリンピック・パラリンピック事業での大会情報（競技会場や競技種目の概要説明）の周知・啓発活動を契機に、東京2020大会のボランティア募集を目指し取り組む方々をサポートしています。



講師紹介

筑波大学教員



教授 真田久

東京生まれ。筑波大学体育専門学群卒、同大学院体育研究科修了。福岡教育大学教員を経て、1996年より筑波大学教員。2012年より2018年3月まで体育専門学群長。博士（人間科学）。専門はオリンピック史とオリンピック教育。



教授 松原豊

筑波大学大学院体育学修了。専門領域はアダプテッド体育・スポーツ学。肢体不自由児・者に対する体育・スポーツ支援、児童発達支援、インクルーシブ体育、ダンスセラピーなどに関する教育研究の第一人者。



教授 山口香

筑波大学体育系教授。元柔道選手。女子柔道のパイオニアであり、日本女子初の世界チャンピオン。1988年ソウルオリンピック銅メダル。現在は日本オリンピック委員会の理事も務め、柔道のみならずスポーツ全体の普及発展に努める。



客員教授 江上いづみ

筑波大学附属高校から慶大法学部法律学科卒。日本航空客室乗務員として30年に渡り国際線を乗務し、2013年7月に退社。同年11月、Global Manner Springs設立。14年より筑波大学にて講義を開始し、15年同大学客員教授就任。



准教授 澤江幸則

筑波大学体育専門学群卒、同大学院修士、東北大学大学院博士（教育学）。アダプテッド体育・スポーツ学研究領域で、障害児の運動発達支援およびパラリンピック・ムーブメントと教育のあり方について、研究と実践を行っている。



助教 杉山文乃

筑波大学体育専門学群卒、同大学院博士前期課程修了。後期課程在学中。アダプテッド体育・スポーツ学領域で、主に自閉症児・者の余暇支援およびパラリンピック・ムーブメントについての研究と実践を行なっている。

ゲスト講師



文教大学 准教授 二宮雅也

宮崎県延岡市出身。筑波大学卒。同大学院体育学修了。スポーツ社会学を専門とし、日本財団ボランティアサポートセンター参加として東京2020大会ボランティア戦略策定に従事。組織委員会ボランティアアドバイザー会議アドバイザー。



日本パラリンピアンズ協会会長 河合純一

日本身体障がい者水泳連盟会長。元パラリンピック水泳選手（金メダル5個、銀メダル9個、銅メダル7個）。2016年に偉大な功績を残した選手として認められ、日本人で初めて「パラリンピック殿堂」入りを果たす。



筑波技術大学 准教授 天野和彦

筑波大学体育専門学群卒、同大学院修士課程体育研究科修了。同大学体育科学系勤務を経て現職に至る。大学では視覚障害学生の体育・スポーツを担当。地域の障害者を対象にスポーツ教室を開催し、障害者スポーツの普及に努めている。

会場のご案内



丸の内線茗荷谷駅より徒歩10分
有楽町線護国寺駅より徒歩8分



丸の内線茗荷谷駅より徒歩8分

第3回カリキュラム&スケジュール

筑波大学附属中高等学校内 桐陰会館

8/26(日) 1日目	講座テーマ		担当講師
8:30-9:00	受付		
9:00-9:10	開講式		
9:10-10:00	オリンピック・パラリンピック競技の特性		澤江 幸則
グループ別講座	GROUP 1	GROUP 2	GROUP 3
10:10-10:50	ブラインドサッカー 天野 和彦 育鳳館	シッティングバレー 杉山 文乃 桐陰会館大講義室	ボッチャ 澤江 幸則 桐陰会館ホール
11:00-11:40	ボッチャ 澤江 幸則 桐陰会館ホール	ブラインドサッカー 天野 和彦 育鳳館	シッティングバレー 杉山 文乃 桐陰会館大講義室
11:50-12:30	シッティングバレー 杉山 文乃 桐陰会館大講義室	ボッチャ 澤江 幸則 桐陰会館ホール	ブラインドサッカー 天野 和彦 育鳳館
12:30-13:30	昼食		
グループ別講座	GROUP 1	GROUP 2	GROUP 3
13:30-14:15	車椅子のサポート方法 池田 仁 育鳳館	視覚障害者ガイド 氣仙 有実子 桐陰会館ホール	外国人とのコミュニケーション 筑波大学留学生 桐陰会館大講義室
14:25-15:10	外国人とのコミュニケーション 筑波大学留学生 桐陰会館大講義室	車椅子のサポート方法 池田 仁 育鳳館	視覚障害者ガイド 氣仙 有実子 桐陰会館ホール
15:20-16:05	視覚障害者ガイド 氣仙 有実子 桐陰会館ホール	外国人とのコミュニケーション 筑波大学留学生 桐陰会館大講義室	車椅子のサポート方法 池田 仁 育鳳館
16:20-17:10	スポーツボランティアとその精神		二宮 雅也
17:10-17:20	第2日目の連絡事項・会場確認		

筑波大学附属小学校 講堂

9/2(日) 2日目	講座テーマ	担当講師
9:30-9:40	2日目の流れ説明	
9:40-10:30	パラリンピックの歴史と教育	澤江 幸則
10:40-11:30	アスリートとボランティアのコミュニケーション	河合 純一
11:40-12:30	アスリートから学ぶ人間力	山口 香
12:30-13:30	昼食	
13:30-14:20	オリンピックの歴史と教育	真田 久
14:30-15:20	平昌2018オリンピックボランティア学生に聴く	ボランティア経験のある大学生によるパネルディスカッション
15:30-17:00	グローバルマナーとおもてなしの心 ～ホスト国日本のボランティアとして～	江上 いずみ
17:00-17:30	閉講式・修了証授与	
17:30	解散	

申込方法

右記「QRコード」から『第3回国際スポーツボランティア育成プログラム』開催要項ページへアクセスの上、お申し込みください。定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

【申込期間】 **5月28日(月)～8月17日(金)**

お問い合わせ先 筑波大学 東京キャンパス事務部

E-mail: intl_sports-volunt@un.tsukuba.ac.jp

